

レディースNOW

商工女性は今
茨城県商工会女性部連合会
水戸市桜川2丁目2番35号
電話 (029) 224-2635
FAX (029) 226-0955
発行者 宮本正枝
女性部員数 2,926人

県商工会女性部連合会では、2月10日に、水戸プラザホテルにおいて第18回茨城県商工会女性部主張発表大会を開催した。今回は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から3密防止に向けた様々な対策を講じ、参加人数も制限して開催。また、初の試みとなるユーチューブ配信を行い、参加できない部員にも生ライブで視聴できるよう実施した。主張発表は、県内各プロジェクト代表の大森有紀さん(大子町)、「継続していく」ということ・田村美穂子さん(小美玉市)、「キラキラ女子増殖計画」これがあたしのシティープロモーション・菅谷静枝さん(潮来市)、「魅力ある女性部を目指して」・高野喜代子さん(つくば市)、「子供たちにハンカチを」・大竹洋子さん(龍ヶ崎市)、「次

世代に願う事」・増田恵美さん(古河市)、「地域の魅力再発見」・増田さん(古河市)、「地域の魅力再発見」が日頃の思いを主張発表した。茨城県からのご提案案の6名の方々が日頃の思いを主張発表した。

茨城県からのご提案案の6名の方々が日頃の思いを主張発表した。茨城県からのご提案案の6名の方々が日頃の思いを主張発表した。

農園ガストロノミーツアー企画、女性部一丸となって活動した事業内容を発表。最優秀賞の受賞となりました。

本年7月6日に開催される関東ブロック交流研修会(山梨大会)に本県代表として出場し発表する。



宮本会長を囲む受賞者の皆様

最優秀賞に輝いた増田さん



女性部
主張発表会

地域の魅力再発見へ魅力度ランキング最下位
茨城県からのご提案へ

増田さん(古河市)が最優秀賞



所信表明する宮本会長



会場の様子

女性部
部長会議

～第3代県女性連宮本会長所信表明～

～第3代県女性連宮本会長所信表明～

県商工会女性部連合会は、商工会女性部部長会議「部長サミット」を10月21日、水戸プラザホテルで開催し、女性部長33名が出席した。

当初、9月24日に開催予定であったが、新型コロナ

第5波の影響で1か月の延期開催となつた。

当月の延期開催となつた。

宮本会長が議長となり第3代県

女性連の活動方針やこれから女性部事業の事業目的を丁寧に説明した。

また、事前に各

女性部の現状や課題、取り組みたい事業等のアンケート調査を実施。その結果を各女性部間で共有し、

今後の女性部活動において情報交換

や事業実施する際には役立ててほしいと述べた。

アンケート調査は各商工会女性部長を対象に実施し、

結果については抜粋して以下のとおりに報告する。

『3』いばらき女性部活動を効果的に実施するため、

性部ににおける若い層を中心とした事業の有無は、83%

が「無い」との回答であった。

『2』各商工会女性部における若い層を中心とした事業の有無は、83%

が「無い」との回答であった。

『1』いばらき女性部活動を効果的に実施するため、

性部活動を効果的に実施するため、

常陸太田市商工会女性部員の高橋美紀さん(WD(ダボディ)に「効果的な情報発信のポジント」をテーマに講話していただき

また、女性部活動を効果的に実施するため、

性部活動を効果的に実施するため、

セミナーなど様々な声が上がった。

補助金、健康、起業家体験談、保険、若い層をターゲットにした少人数での業種・年齢等別セミナーなど様々

な声が上がった。

また、女性部活動を効果的に実施するため、

性部活動を効果的に実施するため、

セミナーなど様々

</

地域の魅力再発見

北茨城市 一どぶ汁ー

茨城県北茨城市。福島県との県境に位置する県内最北端の市であり、六角堂や近代日本藝術に大きな影響を与えた岡倉天心を称えた天心記念五浦美術館など芸術的にも盛んな地であり、また山海の食材に恵まれた場所である。そんな北茨城市を代表する名産が「あんこう」である。

目の前に広がる常磐沖は親潮（寒流）と黒潮（暖流）がちょうど交わることから、「潮目の海」とも呼ばれ、そこで獲れた魚は、良質で脂もよくのつてあり、築地市場を中心とした各市場では大変高い評価を得ている。その中でも平目、目貫と並び有名なのが「あんこう」である。

グロテスクな見た目からは想像できない上品な白身とあん肝や胃袋など様々な食感が楽しめる通称「あんこうの七つ道具」と言われる部位を使用した料理は地元の人々にも愛されるものとなっている。

中でもあん肝をたっぷりとスープに溶かした味噌味の「あんこう鍋」は人気で、その濃厚な味を目当てに毎年多くの旅行客がこの土地に訪れる。

そのあんこう鍋の原型とも言われ、まさに知る人ぞ知る郷土料理として近年評判を呼んでいるのが水を使わないあんこう鍋「どぶ汁」である。

たっぷりのあん肝と特製の合わせ味噌を鍋の中で炒り合わせ、そこにあんこうの身と野菜を投入、あとは具材から出る水分であん肝を伸ばしていくというシンプルな料理なのだが、通常のあんこう鍋よりもさらに濃厚、正にあん肝の旨さを思いっきり味わえる逸品となっている。

当館ニッセイ観光ホテルでは具材はシンプルにあんこうの身と地元の農家さんが作る丸大根のみ。丸大根は味が通常の青首大根よりも爽やかで、大量のあん肝のくどさを中和し、より食べやすい鍋にしてくれる。あん肝の旨みを吸い込んだ丸大根は影の主役だ。



※提供期間は11月から3月まで。

大洗町 一歴史と文化の神社と御神水 ー

茨城県の東部に位置する大洗町では、太平洋に面した岬の丘上に「大洗磯前神社」がございます。

創建は856年（斎衡3年）、中世には戦乱で荒廃し、近世になって水戸藩主の徳川光圀・綱條により再興しました。本殿・拝殿・随神門が茨城県・大洗町の文化財に指定されています。また、波が洗う海岸に建てられた「神磯の鳥居」も初日の出などで有名です。

境内から涌く水は眼病に効くといわれ明治時代まで「目さらしの井」があり、神社前の海岸は潮湯治（病気治療のため、海水につかること）で江戸時代から御祭神の御利益をいただこうと賑わっていたようです。

現在も靈験あらたかな御神水を求めて多くの方が遠方よりお越しになります。

東日本大震災では4mの津波が押し寄せたにもかかわらず、大洗町では津波での死者はいませんでした。「目さらしの井」があった辺りには今でも少し水が湧いていますが不思議なことに、この時には大量の水が湧き出しました。大洗町は断水していましたので、この御神水を求めて多くの町民が神社に訪れました。喉を潤すことで地震で沈んだ心が癒えの方が多いいらっしゃったと思います。

また、磯前神社の周辺には日本でもトップクラスの大型水族館「アクアワールド大洗」や夏に多くの海水浴客で賑わう、大洗海水浴場もございます。

冬が旬のあんこう鍋を味わいながら神社周辺を散策するのもおススメです。

四季折々の様々な魅力がいっぱいの大洗です。

「疫病退散！」一日でも早くコロナ禍が終息することを願っております。



鹿嶋市 一常陸の国・茨城が誇る神社「鹿島神宮」ー

茨城県民なら、鹿島神宮の名を一度は耳にしたことがあると思いますが、鹿島神宮について詳しく知らないという方も多いのではないでしょうか。

鹿島神宮は北浦と鹿島灘に挟まれた鹿島台地上に創建されました。その歴史は神武天皇元年から現代にまで続き、鹿島神宮を守る周囲の樹叢がその長い年月を感じさせます。鹿島神宮は、東北地方・関東地方を中心とする全国約600社の鹿島神社の総本社として格式高い神社であり、地元・遠方からもお参りに来る方が後を絶ちません。武道の神様「武甕槌大神（タケミカツチノオオカミ）」が御祭神として祀られており、地元のサッカーチーム・鹿島アントラーズもシーズン前に必勝祈願を行うほど。鹿島神宮の境内は国の史跡に、そして社殿は7棟が国の重要文化財に指定されているほか、多くの文化財を残し、現代にその歴史を伝えています。敷地面積はなんと約21万坪で東京ドーム15個分の広さがあり、実際に境内を散策してみると敷地の広大さに驚きを感じます。地中深くまで埋まっていることで知られる要石、年始に200人の人々が大寒禊を行う御手洗池など、様々な由来のあるスポットばかりで見どころがたくさんあります。奥参道を歩いていると、鹿園があり神の使いとされるたくさんの鹿たちに餌のニンジンをあげることができるふれあいスポットがあります。愛くるしい小鹿をまじかで見ることができて、とても癒されます。境内には、神使の鹿が石灯籠などに象られているので散策中探してみてはいかがでしょうか。

パワースポットや御朱印集めなど、神社仏閣巡りがブームとなっている昨今、四季折々を感じられ、何度も足を運びたくなる由緒ある鹿島神宮の魅力を県内外の方々にもっと発信していきたいと思います。



つくば市 一歴史漂う北条散歩一

2022 年大河ドラマの舞台にもなっている鎌倉時代。鎌倉と聞くと茨城県には所縁の無い場所のように感じてしまいますが、そんな鎌倉から続く歴史を直に感じられる秘蔵スポットがつくば市北条には溢れています。今回はそんな北条の時代と歴史を巡る散策道をご紹介します。

まずは北条商店街通り。この通りには 4 つもの国の登録有形文化財が存在しています。その中の一つである『矢中の杜』。建材研究家である矢中龍次郎氏が建てたこの邸宅は、日本建築をベースに近代の和洋折衷の様式も取り入れた豪邸です。豪華に彩られる邸宅で、時間を忘れるひとときを過ごしてみてはいかがでしょうか。そして『宮本家住宅店蔵』。店蔵に入ると江戸商機や秘蔵の道具を直に見ることができます。一番大きな蔵は穀蔵から音蔵『宮清大蔵』へと生まれ変わり、芸術文化の交流拠点として親しまれています。お昼のおすすめは宮清大蔵の隣に位置する『釜揚うどん店あおやま』。薬味が豊富で自分好みの食べ方を見つける一品です。



さらに商店街通りから堀側に入った裏堀通りを進みます。堀の名の通り、この通りには鎌倉初期に北条一帯を治めていた多気太郎の命により造られた用水路が続いている。桜川から取水され、稻作の為に造られたこの用水路には、『鎌倉殿の 13 人』にも登場し敵対する源氏である八田智家により戦の準備の為に掘ったものとされてしまい、多気太郎は謀反の罪に問われ刑に処されてしまったとされる歴史があります。非業の最期を供養するための五輪塔が、裏堀を見下ろす丘の上に立っています。

そして山側通り。絶景が楽しめるこの通りには神社や寺跡が並んでいます。心安らぐ場所でゆっくりと歴史を感じみてはいかがでしょうか。

散策したあとは、文化財の一つであるカフェポステンで一休み。旧常陸北条郵便局を改装した店内は当時の面影が残る、静かな雰囲気がとても素敵なお店です。

今回紹介したのはほんの一部ですが、北条自慢の秘蔵スポット、歴史を感じられる町並みが皆さんを待っています。



河内町 一河内町の『夢見るいちご研究所』一

河内町は県南の最南端に位置し、利根川周辺の豊かな水源に恵まれた農業がさかんな町です。米作や野菜、花苗の育成など生産農家が多く、閑散期で使用していないビニールハウスを利用した、いちご狩りが楽しめるところもあります。(※夢見るいちご研究所) また令和 4 年 4 月 17 日には河内町直売センターがリニューアル予定で、オープニングイベントには女性部が物販で参加する予定です。皆様のお越しをお待ちしております。

(成島久美子 記)

店舗情報 株式会社ゲブラナガトヨ

茨城県稻敷郡河内町田川 381 電話 0297-86-2346

30 分食べ放題で、4 歳以上 1800 円、4 歳未満 900 円となります。いちごの生育状況や天候により、営業期間の変更があります。



利根町 一利根川桜づつみ一

「ここにもっと豊かな景観があればもっと良くなる。後の人にも残せるし、それも大事なことだろう。」と堤防上に桜並木をつくる事に提言された人。その後 20 年見事に咲き誇る桜のトンネルが町のシンボルとなりました。桜づつみは約 900 メートルにわたり 182 本の植樹全て里親制になっています。「いばらきの宝 125」に五浦六角堂、袋田の滝、納豆と並んで「利根川桜づつみ」が選出されました。先人の苦労の元、毎年町のイベントとして「桜まつり」が盛大に開催されます。至る所に桜木がある利根町は、この時期町中がピンク色に染まります。豊かな自然に包まれた利根町で桜と共にあなたのお越しをお待ちしています。



八千代町

八千代町の東落田天満社は、京都北野天満宮から御靈を分祀し、1288 年に創建しました。

豊かな緑に囲まれた鎮守の杜で、四季折々の自然の美しさを身体いっぱいに感じ散策すると心を和ませてくれるでしょう。

御朱印は、菅原道真公が詠んだ和歌や漢詩がしたためられていて、色鮮やかな絵柄も 20 種類以上あり、梅や桜などの花をあしらったものや、織姫と彦星が手を取り合う姿、月でウサギが餅つきする姿など、季節感あるデザインものもあり、参拝者はこれらの中から気に入ったものを選べます。

そして裏参道桜並木は約 200 メートルあり、満開になると毎年多くの人が花見に訪れるという名所となっています。また、夜はライトアップされ、昼間と夜間の両方、桜見物が楽しめるようになっています。(ライトアップは、コロナ感染対策で中止になる場合があります。)

東落田天満社を満喫したあとは、常陸牛を自社で飼育し販売する『わぎゅう食堂くらもち』にて、常陸牛肉のステーキや煮込みハンバーグなどを是非ご堪能下さい。隣接する『倉持精肉店』でも、常陸牛肉のほか、好評の豚みそ漬けなどもお土産としてお買い求めいただけます。また、店先には自家製ハンバーグなど 24 時間購入可能な自販機も設置してます。



令和 4 年の限定御朱印



東落田天満社



ライトアップされた桜の参道



ギフトにも最適な豚みそ漬け

食堂と精肉店の併設した外観



